

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	河川環境情報基盤構築・活用検討業務
業 務 概 要	計画準備1式、水国データの入出力システムの検討、構築1式、水国データベースの検討、構築1式、水国データを活用したアプリケーションの検討、構築1式、水国データに関わるシステムのとりまとめ1式、報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 6年 7月11日
契 約 業 者 名	河川環境情報基盤構築・活用検討業務リバーフロント研究所・水資源環境セン
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区新川1-17-24
契 約 金 額	159,830,000円(税込み)
予 定 価 格	159,885,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 7月12日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 3月10日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 河川環境情報基盤構築・活用検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都中央区新川一丁目17番24号
会社名：河川環境情報基盤構築・活用検討業務リバーフロント研究所・水源地環境センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体
電話：03-6228-3861
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、国が管理する河川を対象に、河川環境管理の効率化、高度化に資するため、河川水辺の国勢調査等の河川環境データを一元的に管理し、三次元河川管内図や河道基盤情報化システム等の他のシステムと連携できる情報基盤を構築するとともに、水国データの利活用を検討し、構築に反映を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. 水国データの入出力システムの検討、構築 | 1式 |
| 3. 水国データベースの検討、構築 | 1式 |
| 4. 水国データを活用したアプリケーションの検討、構築 | 1式 |
| 5. 水国データに関わるシステムのとりまとめ | 1式 |
| 6. 報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「河川水辺の国勢調査データを活用したアプリケーションの検討、構築における工夫について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における工程計画の工夫が記載されていること、及び評価テーマの「河川水辺の国勢調査データを活用したアプリケーションの検討、構築における工夫について」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、提案を裏付ける内容が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川環境課長